第１１８号

居合道だより

はじめに

写真：武道祭試し斬り

先月１４日に発生した熊本地震。震度７の前震、本震に続き今なお続いている余震により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

何度も訪れたことのある熊本を代表する重要文化財の熊本城の櫓や長塀、阿蘇神社の楼門等が一瞬にして崩壊してしまったのは本当に残念でならない。

新しい建物は建て替えられるが歴史ある建造物は二度と蘇らないのだから。

被災された方のなかに以前より親しくさせて頂いていたK先生がいらっしゃる。

一度ご自宅を訪問したことがあるが、古武士然とした風貌の先生のお住まいとして本当にいかにもといった趣の平屋の日本家屋だった。黒漆喰の壁やくすんだ杉板の天井が歴史を感じさせ独特の風格を醸し出していた。

その家屋もほとんど全壊状態だそうである。先生の代名詞でもある庭先に莫蓙等を敷き詰めて稽古する青空道場もその端の石垣が崩れ落ちてしまったそうである。

本当に残念である。先生のご心痛はいかばかりであろうかと心よりお悔やみ申し上げたい。

大災害が発生する度に思うことは、人間の小ささと自然の偉大さ。そしてその自然に対する人間の傲慢さである。

しかしその小さな人間でもみんなで力を合わせて生きていけば必ず復興できることを歴史は証明してくれている。

一人では出来ないことでもみんなで支援し協力し合っていけば必ず復興再生の道は開けてくる。我々一人一人が自分に出来ること、今やれる支援をしていくことで被災者の皆様のお役に少しでも立っていきたい。

被災者の皆様が一日でも早く安心して暮らせる日常が戻って来ることを願ってやまない。

今月は居合道部の新たな出発の月である。居合道部の発展に向かって三つの委員会も動きだし素晴らしい企画が立案されている。

　みんなで力を合わせて福岡県居合道部の底力を発揮していこう。会員一人一人が人任せにせず、小さな事でも今自分が出来ることを明日に延ばさず今日からやっていこう。

　今あなたが始めた小さな事は、必ずこれからみんなで始める大きな事の呼び水になる。

『先ず隗より始めよ！』

会員の声

理事退任にあたり

居合道教士七段　菊次正行

　このたび理事の定年制（七十五歳）になり永年務めさせてもらった理事を退任することになりました

　在任期間は大変お世話様になり微力ながら無事勤めることができたのも皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

　このたびの役員改正により若返った体制に新たな企画も加わり、ますます居合道部が発展成長していくことを心より願っています

　理事在任中、特に思い出に残るものとして2つの大きなイベントがあります。

　全日本剣道連盟主催の平成23年7月の西日本地区居合道講習会（アクシオン福岡）

　平成27年10月の第50回全日本居合道大会（アクシオン福岡）

　特に第50回全日本居合道大会では、居合道部全員が打って一丸となって取り組んだ「成せば成る」の強い信念の元に完全優勝を成し遂げました。史上初の快挙であったこと、この大会に参画できた事は私の忘れがたい思い出となりました。

　これより私の武を求めて60年余を振り返り私の所感を述べさせていただきます。

　剣道との出会いは戦後武道がGHQにより一時期禁止されていた時代を経て今の玉竜旗大会の前身である戦後初の西日本高校剣道大会に出場しました。当時東公園の中にあった武徳殿が大会会場となりこのときの優勝校は福岡商業であった。私は中堅で出場し負けたことの悔しさが今も鮮明に蘇ってきます。

居合道との出会いは昭和48年真剣に魅せられ始めて、43年余今も道半ばであります。

剣居一如、剣道と居合道は車の両輪であると思っています。

剣道の原点は刀であり、刀には鎬がある。鎬を削ると言う例えがあるように厳しいものであります

手の内と鎬の使い方には剣の理法があり、それはまさに剣道形にあるものと思います。剣道は形のごとくとよく言われます。ややもすれば勝負にこだわり当てっこ剣道になり、形なし剣道と言われる所以でもあります。

居合道の心得に刀には使われることなかれ、己が体を元として剣を使う事、即ち剣を下ろす瞬前、すでに両足ともに地に着き、確固不抜の体制にあるべきこと、すなわち足至り腰至り而って刀至るの順序たるべきこととあります（河野稔百錬先生口述より）

中山博道先生は正しく執行すれば80歳でも敗れないと述べられている。

勝負とか稽古とか体力との対抗に於いて年齢がないとする。

最大の原因は修行の正しさが竹刀に与えた悟りがあるためで、剣道に年齢は無いのだと言っていいと考えている（中山博道先生口述より）

私も七十七歳で長い道程ではあったが剣道七段に合格できました継続は力なり、続けていくことの大切さを実感しています。

ありがたきかな喜寿の年と重なり私なりの集大成と思っています。

これからも生涯、己に勝つ稽古を求めて修行に努めていきたいと思います。

今は姿勢と呼吸法に留意しながら稽古に取り組んでいます。

剣道と居合道との出会いは私の人生に大きな柱となっています。

ありがとうございました。

主な出来事

４月９日(土)	居合道教士称号筆記試験	福岡市
４月１０日(日)	第４６回福岡県剣道連盟武道祭	福岡武道館
	居合道部３委員会会議	

５～６月の予定

５月２日(月)～５日(木)	第１１１回全日本剣道演武大会	京都市
５月３日(火)	居合道八段審査会　　称号審査会	京都市
５月８日(日)	居合道部理事会、各委員会会議	サンレイク粕屋
５月１５日(日)	居合道部理事会、総会	クリエイト篠栗
６月５日(日)	居合道講習会、称号講習、級審査会	アクシオン福岡
６月２６日(日)	第４９回福岡県居合道大会	福岡武道館

© 公益社団法人　福岡県剣道連盟　福岡県剣道連盟　居合道部

第１１８号 平成２８年５月１日発行

発　行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : http://riai.info/
発行人：井手友太

〒819-1132　糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847